

日野町出身の山岳写真家 田淵行男生誕100年

ことしは、日野町が生んだ偉大な山岳写真家であり、詩人であり、研究者でもあった故田淵行男さんの生誕100年です。ここでは、田淵さんの活動の地であつた長野県豊科町で開かれた記念式典の様子などをご紹介します。



日野町から出席されたみなさん



黒坂小学校が表彰を受ける



田淵行男生

たぶち・ゆきお

1905(明治38)年、黒坂村(現日野町)生まれ。東京高等師範学校(現筑波大学)を卒業し教職に就く。昭和20年に長野・安曇野に疎開し、高山蝶の生態研究・撮影に取り組む。1961(昭和36)年、豊科町に居を移し、生涯をおくる。1989(平成元)年没。翌年、豊科町に田淵行男記念館が開館。年間を通じて多くの自然爱好者が訪れている。日本各地の山岳写真やエッセイ集など、生涯で37冊の著作を発表。



まちを越えた交流を

田淵行男生誕百年記念式典
田淵行男生誕百年記念式典

田淵行男生誕百年記念式典が、豊科町公民館ホールで開かれ、昨年、根雨で開催された田淵行男作品展の実行委員長の福田和也さん(黒坂)をはじめ、日野町から総勢17人が出席しました。

式典の中では、「小学生の環境学習」奨励の表彰があ

り、黒坂小学校が、田淵さん

の生き方などを通して自

然・環境についての学習を行つことに対する表彰を受けました。

その後、隣接する「ジ安曇野」に会場を移してレセプションが行われました。そこでは、昨年日野町を訪れた田淵行男記念館友の会のメンバー14人の再会を喜び合い、旧交を温め合う場面もあり、田淵さんの偉業を通じたまち同士の心の交流のあたたかさを感じる一日となりました。

ふるさとの誇り

頭本憲明



式典では、黒坂小学校6年生の4人による、昨年の「田淵行男作品展」の感想文の朗読がビデオ上映されました。

ふるさとの誇り

頭本憲明

僕は、田淵さんの黄色いテントの写真が特に好きです。とってもきれいだからです。チヨウの絵が写真かと思つたけどそれは絵で、絵もうまかつたんだな、と思いました。あと、小さい命を大切にするやさしい人で尊敬しました。病気になつてもチヨウの研究を続けていて、大変だったのに頑張られたんだなと思いました。こんなすごい人が黒坂におられたなんてびっくりしました。

ふるさとからの ビデオレター



左から、三島瑞季さん、矢田貝詩織さん、頭本憲明さん、谷口あずささん

命がけで描いたチヨウ

矢田貝詩織

私は、写真を見てこんなにきれいなのを撮れるなんてすごいなと思いました。

田淵さんは、カラーよりも白黒のほうがいいと聞いて、私だったらカラーのほうがいいなあと思いました。そんなんにきれいにできるなん

私は、この田淵さんとの作品展を見て、一番にすごいなと思いました。写真や絵がとてもきれいで、こんなにきれいにできるなん

てすごいです。

それに、田淵さんが黒坂に住んでおられたなんてびっくりしました。私は、どこか都会に住んでおられたんだろうと思つていました。同じ黒坂に住んでいたなんて少し不思議です。

私は、写真で気に入つたのがあって、題は忘れたけど、とってもきれいでした。

私は、写真で気に入つたのがあって、題は忘れたけど、とってもきれいでした。

機会があつたら、「田淵行男記念館」に行ってみたい

田淵さんみたいな写真を見て、すごくいい写真だな

田淵さんのお話を聞いて思つたことは、光と影を使つた作品が多いな、とい

うことです。でもそれぞれ違つていて、とてもいい作品だな、と思いました。

赤羽館長さんのお話を聞

いたときは、メモをとつていると、いろいろなことを思いました。前に山を写しに行つたら看板が立つてい

て、非常に怒つたという話

赤羽館長さんのお話を聞く

は、生きているのは人間ばかりじゃなく、生き物や植

物も生きているので、田淵

さんのように命を大切にし

ていきたいと思います。

赤羽館長さんのお話を聞

いて思つたことは、田淵さ

んは山に看板を立てられた時

も怒つておられたらしいの

で、自然を思ういい人だと

思いました。

私は写真が好きなので、いつか田淵さんみたいな写

真を撮りたいです。

赤羽館長さんのお話を聞

いて思つたことは、田淵さ

んは山に看板を立てられた時

も怒つておられたらしいの

で、自然を思ういい人だと

思いました。

私は写真